

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	このとり橋本保育園(本園)	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 藤原 俊貴	定員（利用人数）：	65（64）名	
所在地：	252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-36-1 グラントーレ橋本1F			
TEL：	042-703-0911	ホームページ：	http://www.aiikukai.or.jp/kounotori/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2018年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人さがみ愛育会			
職員数	常勤職員：	10名	非常勤職員：	9名
専門職員	保育士	12名	栄養士	2名
	事務員	1名	調理員	2名
施設・設備の概要	居室数： 保育室：3 調理室、事務室、お風呂		設備等：	遊戯室

③理念・基本方針

理念：愛の精神

基本運営方針：

- ・育児と仕事の両立支援を目指し、多様化した就労形態により、早朝から夜間に及ぶ時間帯でも安心して働き、家庭生活や子育てができるよう包括的に支援します。
- ・保育所保育指針を遵守し、長時間による子どもの負担を軽減するとともに発達に応じた保育を実践します。

保育方針：

子ども一人ひとりの興味や関心を広げ、自分で考え行動する力を育む
健康で安全に生きていく上で必要となる習慣や態度を身につける
生活の中で言葉への関心を育て、豊かに言葉で表現する力を育む
主体性を発揮し、お互いに相手を認め合い、思いやりの心や人と関わる力を育む

④施設・事業所の特徴的な取組

園は開園5年目になり、今年8月に園から程近い所に分園を開設したため、本園の0、1歳児が分園に移り、現在本園では2～5歳児を預かっています。園の特徴としては、まず、7時から22時までの長時間保育を行っています。これは多様化した就労形態の現在、保護者の育児と仕事の両立支援を目的にしたもので、18時から22時までの延長保育を利用する子どもには、希望により夕食を提供し、入浴を行っています。園は家庭での生活の連続性に配慮し、保護者の支援に努めています。次に、園は高層マンションの1階にあるため、園庭がありません。しかし晴れた日はすぐ近くの神社やさまざまな公園に散歩に行き、いろいろな遊びを楽しみ、雨天でも遊戯室に用意したアスレチック施設などで体を十分に動かしています。また、園バスで多摩や三浦海岸などに行き、山や海の大自然に触れ、近隣の農家の畑でさつま芋掘りを楽しんでいます。また、園の給食は旬の野菜や果物などを十分に取り入れて、四季折々の行事にちなんだ季節感のある献立を工夫して提供しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月11日 (契約日) ~ 2023年3月22日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	0 回 (年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆園の基本運営方針にのっとり、早朝から夜間に及ぶ保育を実施しています

社会福祉法人さがみ愛育会の「愛の精神」を基本理念として設立した当園は基本運営方針に「育児と仕事の両立支援を目指し、多様化した就労形態により、早朝から夜間に及ぶ時間帯でも安心して働き、家庭生活や子育てができるよう包括的に支援します」などを表明して、7時から22時までの長時間保育を実施しています。18時～22時までの延長保育を利用する子どもには、希望により夕食を提供し、入浴をすることもできます。園では家庭との生活の連続性に配慮して、園で長時間過ごす子どもの負担、及び働く保護者の負担も軽減できるよう、園ででき得る限りの支援に努めています。

◆戸外活動による自然に触れる体験から子どもの好奇心などが育っています

園は高層マンションの1階にあり、園庭がありません。このため、晴れた日は園の近くの神社の境内で遊ぶほか、いろいろな遊具のある公園に散歩に出かけています。また、園バスで市内の広い公園に行き、秋はどんぐりや落ち葉を拾ったり、また多摩方面に行き、鳥の声を聞き、桜や紅葉を見たり、虫を見つけたり、また三浦海岸などでは潮風にあたり、海の生物を見たりしています。近隣の農家とも交流があり、畑でさつま芋掘りを楽しんでいます。このような大自然に触れる体験を通して、室内では得られない好奇心や探求心をはぐくんでおり、子どもたちの間では図鑑が引っ張りだこです。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審したことで、一定の評価基準に照らし合わせ保育園を多角的に観ることができました。足りない部分に対する改善を行いつつ、評価されている部分に対しても工夫を凝らし、より良い保育・生活支援・保育運営に取り組みます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり